

刊夕 日六月十



定価 五銭
 電話 二五五五
 郵便 五五五五
 日曜 休
 発行所 常磐毎日新聞社
 社址 平野町二丁目

素晴しき躍進の

簡易保険と郵便年金

平郵便局長 佐藤守節

【五】

更に又全約四萬の開業
 醫及各地の薬剤師と協定し
 て被保険者の爲に一般料金を
 より二割乃至三割の割引を
 行つて居り、その外ラヂオ
 體操の奨励、衛生パンフレ
 ットの配布等種々の施設を
 講じつゝあるのであるが、
 他縣に比して醫療衛生設備
 の立後れてゐる東北住民の
 健康保護の重要性に鑑み、
 これ等の施設は東北として
 喜ぶべき事柄と謂はねばな
 らない。

一方保険金支拂等に充て
 る爲に準備せられた積立金
 は、現在十一億圓を突破す
 るに至つて居るが、この多
 額の積立金は、自作農創設
 維持、畜産共同施設、傳染
 病院、公益市場、小口産業
 資金、小額生業資金、小學
 校建設、上下水道等五十二
 項目その他の社會公共事業
 に低利放資を爲し地方發展
 に大なる貢献を爲してゐる
 のである。

◎郵便年金

郵便年金は簡易保険の姉

妹制度で専ら國民の老後の
 生活安定を確保せしめる爲
 に出來たのであるが、之も
 創業未だ十週年の短年月に
 も拘らず、今や加入件數三
 十六萬餘件、年金額三千
 餘萬圓と云ふ發展振りを示
 し日と共に國民の理解を深
 め利用の増加を得つゝある
 ことは、國家民衆の爲洵に
 喜ばしい次第である。とし
 て本制度も簡易保険と同じ
 く漸次合理的、團体的加入

を見しめる等感心すべき利
 用方法が随分各地に現れて
 いる状況である。
 兎に角經濟生活の日に増
 し複雑し行く今日、最早生
 命保険なくして一日たりと
 も安穩なる生活は期し得ら
 れない。そうして最早全國
 民が一人たり共簡易保険、
 郵便年金を利用せずして家
 庭生活を遂行して行けない
 今日、國民は覺つてこの兩
 制度の健全なる發達に一層
 參詣しなければならぬ。

○明日の献立

○朝味噌汁！大根、小井

納豆

【晝】グリーンピースとハム

クリーム煮、小井

のりのつくた煮

【晩】湯豆腐(こんぶしき

豆腐、花かつを)

煮物(ぜんまの油い

ため)

利用が増加しつゝあるので
 ある。その一例として仙臺
 市内には福壽會と云ふ年金
 購入組合が出来て居り現在
 の組合員數二百二十餘名、
 年金購入資金として貯金し
 てあるもの總額約五萬八千
 圓、今迄に購入した年金件
 數二百餘件、その年金額
 實に二萬圓に達せんとして
 ゐるのである。或は郵便年
 金村建設を目論み着々成功

美味！ 芳醇！

山崎合名會社
 電話一〇番

外科專門
 花柳病科
木村外科醫院
 電話三〇九番
 平町六丁目橋際
 自炊入院の便あり

秋味覺の秋
 海老料理初めました
 何卒御試食下さい
 天井 三十錢
 フライ 廿五錢
 天ぷら 廿五錢
 此外御注文に應じ色々調理致します
平二警察署裏通り
魚清食堂
 電話六三三

平町南町五二一
根本婦人科醫院
 (手術室完備
 入院隨時)
 根本 莊次郎
 根本 貞雄
 電話三四番

是非！
 御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じ
 ます
 公債、債券、質物一般
三井質店
 平・四 電六〇六番

九ミリ半
ホニイ
 小型活動寫真機
 ◇改良された前進號
 撮影機 ¥ 25.00
 映寫機 ¥ 24.00
 (カタログ進呈)
 平二・電 3
西村屋藥局カメラ部

眼鏡
 最新式
 廉價にして
 正確にして
 各種製
 鏡
 豊富に取揃へて御座います
 (亂視用眼鏡即時調整)
本店
 七〇六話電 目丁二町平

吸入用酸素純度 99%
 体温計
 寒暖計
 器量計
 モノサシ
 マス
 ハカリ
 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
 電話四〇番
 寫真材料一式販賣致シマス

落果梨の

處分に狂奔

柿は殆ど全滅

實りの秋の農家に暗影

やら農家に暗影がさした

近來稀有の颱風禍に吹きさらされた石城地方は殊更果樹類の被害が甚だしく多くは吹き落され目下出廻り中の梨果は好間村文けで落果被害の一萬圓を筆頭に、平窪村でも同様八千二百餘圓(五千四百十五箱)の多額に上り樹木の損害を加へれば更に多額の被害に達すべく狼狽した平窪村果樹組合では五日總會を開いて落果梨の地方並に茨城方面への急遷移出處分した

女子青年 敬老會

平女子青年團は例年の如く来る十七日の新嘗祭當日敬老會を催す事になり目下高

九日から始る

自轉車検査

平町自轉車々體検査は左記の日程で全町内に施行されるが當日は役場受付(現場に出張)から受付番号標を交付されたのち記号番号と氏名を記入、修理改番等の指示を受け、合格者には合格證印を捺印すると

△九日(元博覽會々場跡)

△十三日(同場所)大工町

△十五日(同場所)教育△

△十六日(同場所)實験射

△十七日(同場所)見學△

△十八日(同場所)見學△

△十九日(同場所)見學△

除隊兵の

就職斡旋

昭和人絹視察

茨城縣社會課虎口屬、水戸市職業紹介所川又所長は就職口開拓に五日來郡、錦村昭和人絹會社の内容を詳細に聴取后同工場内部を視察歸縣した

四日間營内に泊り

警中生の軍隊生活

大井川將校其他引卒の許に來る十五日二百餘名が出發

警中では五年生に軍隊生活の實際に接せしむる爲め來る十五日から五日間若松二十九聯隊の營内宿泊を行ふが當日大井川配屬將校を始め各教官、組主任等引卒の下に二百餘名が午前八時半平驛出發同一時四十八分若松驛着一路聯隊に至つて實際狀況を見學し四日間宿營十九日午前七時二十分若松驛發同零時四十五分歸着する筈であるが豫定は左の如くである由

旅に病む婦人に

驛員の手篤い看護

五日午後山崎平驛長宛未知の婦人から懇篤な禮狀が寄せられてはからずも心よい平驛員の善行が判明し手紙の主北海道函館市鍛冶町坂井静子(四七)さんは去月二十九日上京しての歸途上野青森間の急行列車二等車中

で發病同日夜十時二十五分平驛着と同時に下車、昏倒したのを發見した

同驛助役市毛三郎 案内係長谷川住雄 驛手淺賀豊三郎 同志賀義一

繼走選手

地元決定

既報來る十三日の平商陸上運動會に催される郡下各小學校兒童優勝旗争奪六百米繼走今六日迄の出場申込み校は平第一、同第三、湯本好間高、内郷、高坂、川部の六校に達してゐるが制覇を目指す地元兩校の尋六選手は左の如く決定した

△平第一 大谷繁雄 長谷川利夫 田山弘平 鈴木満天 本田茂方

御需用家各位

大日本電力株式會社

前略昨夕四時頃より暴風を振りたる大風雨は風速四〇メートル以上及び社送配電線に甚だしい被害を受け遺憾ながら全線送電不能に陥り全従業員復舊作業に必死の努力致し候も遂長時間に亘り御需用家各位に對し御迷惑相掛け誠に御申譯無之候何卒事情御諒察賜度右取敢へず紙上を以て御詫び旁々御挨拶申上候

昭和十一年十月四日 御需用家各位 大日本電力株式會社

オリムピツクの旅

往來途上の印象記

辯護士 松野尾 繁雄

場を埋めた獨逸人は、日本選手が總統の前で敬禮した時、一齊に拍手をしようと待ちかまへてゐたのだ。ところが豫期に反して、日本選手團は、總統に對し敬禮しなかつた(と、スエ

ドからは見られた)。期待に反した獨逸人の中には、不快の時にやる口笛をやるものすらあつた。これは日本選手團としては非常な失敗だつた。あとでできると、選手は「頭右」

をやつた。のださうだ。然し何しろ色黒く黄い顔の容も小さい、日本人が、あの廣いスタデオンの中で、「頭右」をやつても、スタンドの觀衆には殆んど判らない、そこで獨逸人は、「我等の總統」に敬禮せぬものとして、非常に不快を感じたらしい。

入場式の際は、選手も單に一國を代表するスポーツマンたるにとりまらず一國の外交官的内容も持つてゐるのだから、國際的儀禮を而も効果的にやるべきものゝやうだ。

その翌日小學校の先生が兒童に對し「日本人は總統に敬禮をしなかつた」と教壇から語つたとか、これを小學生から聞いた在留邦人がひどく憂慮してゐた。

つくづく外國人は行進が上手だと思つた。それにしてもお互日本人はあまりにも行進が下手だ。やはり此のことは、日本人の體格的訓練、規律が彼等に劣つてゐるの、一つの現れかも知れない。

大日本電力株式會社 倉變電所

死霊が祟るかの？ 村民の恐怖募る

謎の區長殺し怪聞

深まる獵奇

（昨報）謎の區長殺し事件として獵奇をそゝり未だ犯人逮捕に至らず迷宮入りを傳へられる折柄早くも一週忌を迎へた故三阪村區長白石清治（五）氏の一週忌は親戚遺族の手につけて昨日しめやかに平署から齋藤、本田兩司法主任並に草野刑事が出張香華を手向け死者の靈を慰めたが、その折意外にも獵奇を深める死霊の祟りが流布されて居り反區長派の一味間に奇怪な恐怖觀念の漲つてゐる

事實が確かめられた即ち區長殺し事件發生當時全力を擧げて捜査に狂奔した平署で檢擧した被疑者中阿部清（五）は胃潰瘍で輸血する瀕死の重體にあり白石鶴治（三）は病原不明の病氣で寝たり起きたりしてゐる外大谷明（三）の長男は事件後に死亡、二男も目下生命危篤の重床にある等死者の祟りではないかとの噂が専らである

山村の平和が益々破壊され

事態は悪化する一方 後任區長も極らない

別頃一殺害された故白石清治氏の後任區長は事件が事件であつた丈に未だに決定を見るに至つてゐないが反區長派では同派の白石茂義（三）氏を勝手に區長にまつりあげて役場の承任なきにかゝはらず區長の仕事を運ばして前區長派を激昂させ其後も事毎に對立的な競争を依然として繼續して居る

の平和なるべき山村は益々事態が悪化する一方である
赤井校運動會 赤井第一校の陸上運動會は来る九日午前八時から同校々庭に催される
上水道を斷水 平町杉平地内消火栓工事施工のため左記町内 杉平 八幡小路 揚土 一部は六日午後九時から十二時まで上水道を斷水する

招くよ！
秋は山野に
探勝の客を乗せて
平驛から團體列車

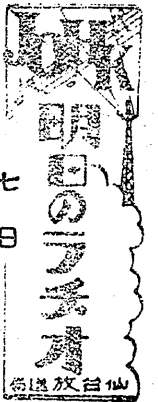
飛ぶ雲 飛ぶ汽車 飛ぶ心
秋の加減で

深む秋、爽涼の大氣は澄み渡つて高い空に日は輝く四方の山表の樹間に紅葉して山靈に供へる木の實は熟し満目の黄稻穂々々、生けるも皆齊しく充實の秋は深む悠々飛ぶ白雲——颯爽とし

櫻が咲いた

陽氣の加減で 秋を春への感懐ひ

秋深むこの頃、櫻は咲きつと咲いた、と咲いた、と陽氣な春をもちらして狂咲いた氣さぐれな櫻がある
平町飯野八幡神社境内の櫻樹はどうした氣紛れからか二三日前から那々咲初め今六日は満開の見事さ、何かの前兆ではないかと附近民を驚かしてゐる、警中新谷教諭や磐女菅波教諭の談に依ると不順な氣候等の際によくある事であるに陽氣の加減から櫻が氣紛れを起したものであると



今夜も明日も北の風曇り

今晚の部
後六〇〇 學校劇
めはどこへ行く 學校劇
後六二五 講演「ハローニッポン」W.T.チルデン
（通譯星野本社運動部長）
後六三〇 趣味講演「淡路の人形芝居」安田喜代門福岡

後七三〇 生活改善講座
「國民、榮養」杉本好一
後八〇〇 胡弓獨奏 西本徳末（秋田）
後八一五 管絃樂シニエ
マンの「交響曲第二」日響
クロイツァー指揮
後八五五 連續講演「次郎長外傳、森の石松」神田ろ山
後九三〇 時報 ニュー

明日の話題 氣象速報 番組預告
前六三〇 基礎英語講座
前七〇一 器の修養「選擇集」井川定慶
前八〇〇、三〇 家庭教育講座「友達と子供」波多野完治
後〇〇五 獨唱とピアノ
マリイ・ライデル、アリス・イルズレー
前〇三〇 國民歌謡「お、大和撫子」阿部幸次
後二〇〇 宗教講座「不幸なる幸福者」新里貫一

後二、四〇 小學生高等科
の時間「職業座談會」大阪
教育放送研究會
後六〇〇 童話劇「仙厓和尚」福岡放送童話研究會
後六、二五 英語講座 H
Fリ
後七、三〇 講演「西郷、勝の會見と江戸の開城」西郷從徳 中島直太郎
後八、〇〇 チェロ獨奏
ロピアチゴルスキ
後八、三〇 ラヂオコント
「親心七時代」參開と女性「淺野進」郎他
後八、五〇 連續講演「次郎長外傳、森、石松」神田ろ山

五千圓拔取事件

けふ懲役二年言渡さる

既報東京警務局から植田警署に發送された五千圓の金券拔取事件として社會の耳目を聳動させた犯人埼玉縣浦和市鯉ヶ窪一三九元東京警務局庶務課深田光太郎（五）に係る窃盜並に公印公文書偽造行使詐欺事件の判決言渡し公判は今日午前十時から平支部で開廷、中島裁判長から「東道肅正を叫ばれてゐる折柄荷も官廳に奉職する身で斯の如き大罪を犯す事は國家の機關を冒瀆するものである」と諭され懲役二年（求刑三年）を言渡された

裁判一束

△既報去る二十七日夜豊岡村字下野阿部泉壽を内妻新妻チヨノと關係ありと誤解し富山縣生れ紙芝居小林啓治（五）と共に散々毆打前頭部其他に全治四週間の裂傷を與へ逃走中捕はれた同町自車修繕業山田成男事朝鮮人趙龍在（四）は其後櫻井檢事を取調べてゐたが今日六日傷害罪として起訴された向小林は未だ行方不明で捜査中

十丹賭博檢舉

内郷村大字綴字堀坂一八坑夫佐藤勇助（三）同字一ノ坪六五



終る蛇の首の建太 (上巻) 悟道軒圓玉 (作) 尾至陽 (書)

二三九 小出の智恵袋
砂子村の庄屋七右衛門にむかひ札前根武田の村役人は領主松前候の家来より追撃して来る幕軍に毒をのませろと頼まれたこと告げた七右衛門はこれ聞いて七『そんな馬鹿なことを云つたか、戦に負けてその爲返しに毒で殺さうとは卑怯なことだ』



村役『この通り袋に入つた毒をおいて行きました、あとから敵が来たならば酒なり餅なり御馳走しろその時にこの毒を入れろ、万一のいひ付けにそむいて毒を入れず敵を助けたならば二ヶ村の者の首を刎るとこゝういふでございます、しかし大勢の人だで食べるものもあり食べぬ者もあらう、食べたものが毒の中つてくるしむを見たらばわし共を助けておくれえ、かう考へて来ると何方にしてもわしどもの命はれえ、そこで領守様の御神慮を伺ふために今しがた御陶を取りましたが、一百番の凶が出ましただ』

七『馬鹿野郎、立退くにしても田畑は何うする、百姓は田畑にはなれては生きてゐることは出来ねえぞ、田畑を背負つて他領へ行けるか、又山林を何うする、山を背負つて歩むことは出来なからう、まあ俺にまかせろ、お前がたの命は助けてやる、こんなことで先祖から住んでゐる土地をすて妻

子になげきをかけるのは馬鹿なことだ、俺が智恵袋から小出の智恵を二つ三つしぼり出せばこの事は無事にすむだ』
これを聞いて一同は大喜び
村役『どうぞその智恵袋の口を開いてわし共を助けて下さいまし』
七『よし承知した、その毒薬を渡せ』
村役『これでございます』
出した袋、その中に白い散薬がある、七右衛門は見てもたが

七『この毒は何んだな、まあ何にしてもこれを食べれば命はねえか、よし、俺が智恵を以つてお前らの難儀を助けてやる、俺と一緒に來なせえ』
と伴れて行つたは海岸、ドリンザブ、と岸打つ波、北海道は冬になると波が高い、七右衛門は海を見てもたがやが

てその劇薬を袋に入れたま、打ちよせる波へさつと投げ込みポン／＼と手を拍いて
七『目出度い、これでお前がたの命は助かつた』
といはれて人々はあつとおどろき
村役『飛んだことをしなされた、毒を海に投げ込んだことが御領主様に知れたならばわし共の命はなからう』
七『エ、騒ぐな、この事がおもてむきになつたならば砂子村の七右衛門が毒を取り上げし海へながしましたといへ』
村役『それをいへばお前さまの首が飛ぶであらう』
七『飛んでも宜いだ、二ヶ村の人にかはつてこの白髪首の一つが役に立てば俺ア死花が咲いただ、目出度い』
といひながらアハハと笑ひ

七『世の中に馬鹿程おそろしいものはねえ、御領主様の御家来には馬鹿ばかりゐる、また馬鹿者におどされて何うしてよかうと領守様に伺ひを立てるとはこれもまた大馬鹿者だ、さア、皆の衆、早く村へ歸つて酒でも飲んで祝ひなせえ』
といひすて、七右衛門はそこを距る、このことはその當時これを目撃した人の文書にある、函館の戦役中にはこんな喜劇もありました、さて幕軍は松前兵の居る江差をさして海陸兩道より進軍した。

北川外科
平町新川町
長崎市長北川芳夫
電話四六六四

各専門門醫擔當
磐城 共濟病院
院長 醫學博士 長谷部喜久
電話四六六番

上田病院
平町南町
電話二二九番

造花 佛具
橋本屋
平新川町
電話一六三
式一具佛神

外科一般
内臓外科
北川外科
レントゲン科
平町新川町二七(諸橋醫院跡)
醫學博士 北川芳夫
小林良次
電話四六四番
(血液検査毎日)
イッテモ入院出来マス

味美 貝焼
鯉節
當店特製
魚問屋
榮盛賀志
三一二話電 目丁四平